

青森県 商工会報

Aomoriken Shoukou Kaihou

商工会は 行きます 聞きます 提案します

発行：青森県商工会連合会／編集：広報編集グループ
〒030-0801 青森県青森市新町 2-8-26 青森県火災共済ビル 5F
TEL・017-734-3394 (代表) FAX・017-773-7249

2013.6 発行

No.381

今月一枚

岩木山

「世界一の桜並木」



Contents

- 平成25年度青森県商工会連合会通常総会 (P.1)
- 平成25年度青森県商工会青年部連合会通常総会 (P.2)
- 平成25年度青森県商工会女性部連合会通常総会 (P.3)
- 青森県商工会連合会新任事務局長 (P.4)
- 商工会だより～横浜町商工会～ (P.4)
- わがまちの元気な企業再発見～(有)割烹 白山～ (P.5)
- 地域商工業の資質向上をお手伝いします (P.6)
- 平成25年度広域振興等活性化事業のお知らせ (P.7)
- 青森県商工会連合会新採用職員の紹介 (P.8)

【岩木山麓

～世界一の桜並木～】

岩木山百沢地区から常盤野県道沿いの全長約 20km の「オオヤマザクラ」の並木です。

昭和60年当時、旧岩木町が「三ヶ村(岩木村・大浦村・駒越村)合併30周年」の記念事業の一つとして地域住民ボランティア約300人が「オオヤマザクラ」の苗木を約6kmに1,000本ほどの植樹を行った事から始まり、「世界一長い桜並木を目指せ」をキャッチフレーズにその後植樹が継続され、現在は約20km、約6,500本にも及ぶ「世界一の桜並木」となったのです。

現在の知名度を得るまでには、地元岩木山観光協会の活動や地域を愛する住民の熱意が込められており、これこそが「地域コミュニティ事業」であり、「地域力」の新たな可能性を大いに感じるのです。

(写真提供:岩木山観光協会)

平成二十五年 青森県商工会連合会通常総会

平成二十五年五月二十三日、青森市の国際ホテル五階「芙蓉の間」において平成二十五年青森県商工会連合会通常総会が開催され、全議案を原案どおり承認しました。

役員補充選任では、新たな青年部連合会長となった東條一彦氏（鰯ヶ沢町）を選任しました。



今会長の開会挨拶

開会挨拶で、今県連会長は内閣府と県内経済団体との懇談会において震災後のエネルギー政策について強く要望を行ったことに触れ、平成二十四年度は、商工会単位で非会員へのアンケート調査やブロック毎の経営支援推進連絡会議を実施し今後の支援体制の構築を図ったこと、また、次世代事業者を育成するため後継者塾や創業塾を開催したほか、ウェブ研修や、経営指導員による「経営指導員事例研究・発表会」を通じ経営課題への支援事例等のノウハウを図り、職員の資質向上にも努めたことを報告しました。その後、役員功勞

全議案原案どおり承認

者と共済事業優良商工会への表彰状・感謝状の贈呈が行われました。通常総会では、大鰯町商工会の宮腰会長を議長に選任して議事が進められ、「第一号議案 平成二十四年度事業報告書並びに収支決算書承認の件」「第二号議案 平成二十四年度商工貯蓄共済事業報告書並びに特別会計損益計算書承認の件」「第三号議案 借入金最高限度額決定の件」について慎重に審議が行われ、原案どおり可決されました。「第四号議案 役員補充選任の件」では、定款の規定により青年部連合会の新会長の東條会長が選任されました。総会終了後に行われた懇親会では、県関係者や各関係機関から多くの来賓のご臨席を賜り、和やかな雰囲気の中で親交を深めました。

県連会長表彰表彰者御芳名

【役員功勞者】

- 蓬田村 吉田 修 (理事)
- 西目屋村 桑田定信 (理事)
- 青森市浪岡 坂田健栄 (理事)
- 小倉尚裕 (理事)
- 奈良岡敏典 (理事)
- 三上恵美子 (理事)
- 伊藤彰紘 (理事)

商工貯蓄共済事業感謝状贈呈商工会

- 市浦 雪田廣志 (監事)
- 市浦 工藤修一 (監事)
- 三沢市 工藤伍郎 (理事)
- 三沢市 三和弘二 (監事)
- 三沢市 相場 博 (理事)
- 六ヶ所村 古間木勝弘 (専務理事)
- 葛西徹也 (監事)
- 五戸町 小泉直人 (理事)
- 南郷 西 清貴 (副会長)
- 松石芳松 (理事)
- 石屋俊夫 (理事)
- 中村隆男 (理事)
- 市浦 三和弘樹 (監査委員)

【商工貯蓄共済】

- ・純増加人口数部門
- 大畑町商工会
- 天間林村商工会
- 三戸町商工会
- ・純増加入率部門
- 田舎館村商工会
- 市浦商工会
- 東通村商工会

【医療保障特約型部門】

- 南部町商工会
- 平内町商工会
- 田舎館村商工会
- 福祉共済部門
- つがる市商工会
- 西目屋村商工会
- 三沢市商工会



総会の様子

平成二十五年度 青森県商工会青年部連合会通常総会

三議案原案通り承認

五月七日、青森市「アラスカ会館」において四十二名の出席により青森県商工会青年部連合会通常総会が開催されました。

総会開催前に退任する商工会青年部長に感謝状の贈呈があり、退任者二十八名を代表し平川市商工会青年部の葛西康人氏に濱谷会長より感謝状の贈呈がありました。また、司会者より新任青年部長の紹介もありました。

青森県商工会連合会の今会長よりご挨拶を頂き引き続き濱谷会長の挨拶の後、荒関利康部長（金木）が議長となり、平成二十四年度事業報告並びに収支決算承認について他、全三議案が原案通り満場一致で可決されました。

新青年部役員名簿

| 役職名 | 氏名 | 商工会名 |
|-----|-------|-------|
| 会長 | 東條 一彦 | 鱒ヶ沢町 |
| 副会長 | 岡田 大作 | 三戸町 |
| 副会長 | 加藤 一史 | 平内町 |
| 副会長 | 成田 貴樹 | 岩木山 |
| 理事 | 本郷 康二 | 今別町 |
| 理事 | 太田 正史 | 鱒ヶ沢町 |
| 理事 | 鈴木 大樹 | つがる市 |
| 理事 | 山田 純爾 | 青森市浪岡 |
| 理事 | 鳥井 一生 | 田舎館村 |
| 理事 | 大川 敏広 | 中泊町 |
| 理事 | 宮沢 一史 | 七戸町 |
| 理事 | 久保 大 | 上北町 |
| 理事 | 北館 貴之 | 風間浦村 |
| 理事 | 中西 則仁 | 東通村 |
| 理事 | 山道 一成 | 階上町 |
| 理事 | 小島 丈治 | 田子町 |
| 監事 | 木村 仁 | 市浦 |
| 監事 | 植竹 大剛 | 野辺地町 |

新会長に
東條一彦氏（鱒ヶ沢町）
を選出

第三号議案、任期満了による役員改選では執行部案により、新会長に「東條一彦氏」が満場一致で承認されました。また新役員は左記の通りに新任されました。
総会終了後に行われた懇親会には三村申吾知事（代理出席 佐々木副知事）をはじめとする各機関から多くのご臨席をいただきました。



東條新会長（左）、濱谷前会長（右）
会長バッジの交換

本年度の活動事業として、引き続き広域連携委託事業を実施し、各ブロックにて商品開発やイベントを通じた地域活性化の取り組みについて実践していきます。

平成二十五年度 青森県商工会女性部連合会通常総会

全議案原案通り承認

五月九日、青森市青森国際ホテル「萬葉の間」において通常総会が四十二名出席により開催されました。総会では長年、女性部長として活躍された方々へ感謝状が贈呈されました。

中美久里子会長は、部員と財源を確保するための「組織基盤の強化」、交流人口の増加による活性化を考慮した「地域社会に貢献する事業の推進」、豊かなまちづくりを推進するための「部員の資質向上」を重点的基本項目として、事業を実施すると挨拶されました。



挨拶をする中美会長

議案本審議は本間千佳子部長（むつ市川内町）が議長となり、平成二十四年度事業報告書並びに収支決算書承認の他、全三議案を原案通り承認決定されました。

今年度は任期満了に伴う役員改選が行われ、中美久里子氏（東北町）を会長に再任し、他新役員は下記のとおり新（再）任されました。

総会後に開催された懇親会では、佐々木郁夫副知事をはじめ各関係機関から多くの来賓のご臨席を賜り親睦を深めました。

| 商工会名 | 退任女性部長 (感謝状贈呈者) |
|------|--------------------|
| 鱒ヶ沢町 | 杉澤 むつ子 |
| 平川市 | 佐藤 成子 |
| 三沢市 | 仲條 とき |
| 東通村 | 三浦 美枝子 |
| 五戸町 | 木村 晃子 |

退任女性部長(感謝状贈呈者)
一覧

広域連携委託事業は商工会地域の食と観光資源を活用した活性化対策と部員の資質向上を目的に、平成二十三年度から取り組んでいます。昨年度は平成二十三年度の調査研究結果をもとに“おもてなし事業”を実施しましたが、今年度はその結果をもとに、より効果的な商工会地域への観光客と回遊対策、部員の資質向上につながる事業内容を予定しています。

今年度の活動事業

| 役職名 | 氏名 | 商工会名 |
|-----|--------|-------|
| 会長 | 中美 久里子 | 東北町 |
| 副会長 | 秋元 洋子 | 金木 |
| 副会長 | 塩崎 かつ | 青森市浪岡 |
| 副会長 | 橋本 礼子 | 田子町 |
| 理事 | 山本 晴子 | 大鰐町 |
| 理事 | 工藤 涼子 | 板柳町 |
| 理事 | 松尾 和子 | 三戸町 |
| 理事 | 田澤 よし子 | 藤崎町 |
| 理事 | 松本 洋子 | 七戸町 |
| 理事 | 大場 和子 | おいらせ町 |
| 理事 | 西村 トシ子 | 階上町 |
| 理事 | 宮本 千恵子 | 深浦町 |
| 理事 | 浜谷 桂子 | 外ヶ浜町 |
| 理事 | 古川 壽子 | 大間町 |
| 理事 | 町屋 秀子 | 天間林村 |
| 理事 | 木村 栄子 | 大畑町 |
| 理事 | 須藤 良子 | 田舎館村 |
| 理事 | 宮本 弘子 | 鶴田町 |
| 監事 | 津嶋 恵美子 | 平内町 |
| 監事 | 葛西 和子 | 鱒ヶ沢町 |
| 監事 | 川端 かつ子 | 東通村 |



総会の様子(上)と役員一覧(右)

就任のご挨拶



県商工会連合会
事務局長
馬場 敏幸

商工会員の皆様、職員の皆様、
こんにちは。

私は「街の賑わいづくり」の一環として以前の勤務先で外国人の考えを取り入れた交流イベントに携わっていました。

イベント開催に向けた打合せともなれば、欧米系からアジア系まで、グローバルというより地球人の集まりそのもの。私の耳に入ってくる音は、外国語ではなく全てが雑音。それでも通訳がいなくても何とか打合せが済んでいたことを記憶しています。

それは集まる目的がはっきりしていたことに加え、私にも理解できるように、片言の日本語や分かりやすい英単語を駆使しながら、お互いが理解し合えるような努力・工夫を自然にしていたのです。

集まる回数を重ねるごとに、「ハロー」とか「コンニチハ」という挨拶が、自然と交わされるように

なっていました。

「コミュニケーション」とは、「挨拶」と「相手の意見を否定しない事」だと私は思っています。

そんな経験から、事務所（職場）に入る朝は、当たり前のように元気良く「おはようございます」から始まります。

お互いが挨拶し合い、コミュニケーションをとることで、職場も明るく活気づき、モチベーションが高まり業務の効率が上がるものと実感しています。

我々の組織は、起業しようと考えている方々やご商売されている方々をはじめ、会員あつての商工会、商工会あつての商工会連合会なのです。

人口減少の問題は地域経済を支える中小企業の活力・活動に大きく影響を与え、会員数も激減していることは周知の通りです。

この困難な状況をコミュニケーションとチームワークで、乗り越え、更に必要とされる商工会、商工会連合会づくりを目指したいものです。

当面の目標は、商工会加入率八割です。今後とも宜しくお願ひ致します。

商工会の旬の話題を提供します

商工会だより

「菜の花のまち
横浜町」

横浜町

「菜の花フェスティバル
in よこはま」

横浜町
商工会



菜の花マラソン

横浜町は下北半島の玄関口として上北郡の最北に位置します。

江戸時代より「天然ひの木」、「ナマコ」を中心とした海産物の上方貿易により繁栄してまいりました。

昭和三十年前半に換金作物の代表として作付けされた「菜の花（ナタネ）」はピーク時には七百五十

haと東京ドームの百六十倍もの作付面積を誇り、「菜の花のまち」として全国より観光客が訪れるようになりました。



観光客で賑わう特産品等の販売ブース

今年の「菜の花フェスティバル in よこはま」は五月十八日・十九日（二日間）に開催されました。三百六十度見渡す限りの菜の花畑をイベント会場とし、メインイベントの「菜の花マラソン」「菜の花大迷路」を盛り上げるため、商工会ではステージショーやビンゴ大会を開催したり、特産品等販売を実施しました。

二日間のフェスティバル来場者数は町人口の三倍にあたる一万五千人を数え、大盛況でございました。



「三戸町郷土料理の会 in 東京」

わがまちの元気な企業再発見

きらりと輝くひと



【企業概要】

所属商工会：三戸町商工会

会社名：(有)割烹白山

：本庄孝浩

電話番号：0179-22-2177

ホームページ：

<http://www.kappoushirayama.com>

ブログ：

<http://plaza.rakuten.co.jp/sakuradamonji/>

御取り寄せ：

<http://kappoushirayama.ocnk.net/>

三戸町は、城下町であり、長い商店街の並ぶ風情のある町です。岩手県三戸市との県境でもあり、青森県の玄関口として皆さんをお迎えしています。寒暖差の激しい気候と良い土壌に恵まれ、また何より温かい住民の手により美味しい農産物が採れるのです。

三戸町の食文化を発信

かねてより東京都内に住み、生活している方々に三戸町の食文化人間力を直接伝えることを目的に他団体と共同で郷土料理の会を東京都内でこれまで四回開催しております。三戸町をはじめ青森県内出身者で東京都に在住の方やその家族、知り合いなどが多数ご参加

くださいました。「懐かしい」「あったかい」「素朴だけど美味しい」などなど沢山の言葉と「是非三戸町に行きたい」という言葉も沢山聞きました。そして何より、三戸町出身の都内で生活されている方々から「是非、故郷の三戸町を何かの形で応援したい」という強い気持ちも伝わって来ました。町外に移住した三戸町の方々の協力を得ながら三戸町の事業者の商売や生活が潤うことにつながることが出来ればと思っています。

名物料理の復活と開発、地元「河川」の清流化への強い思い

「川蟹（もくずがに）すいとん」は三戸町の歴史的食文化とも言えます。当店の名物メニューとして復活させ、皆様方から好評を頂いております。さらには川蟹カレー、川蟹味噌煮込みうどん、川蟹煎餅、川蟹ふりかけ等と、商品化が進んでおります。然しながら現在、その原材料の9割が三戸町を流れる「まべち川」や「熊原川」以外で取れたものなのです。



「川蟹（もくずがに）すいとん」



「川蟹（もくずがに）」

私達は、地元の「まべち川」や「熊原川」を昔のような清流にして川蟹が沢山取れることで、漁師の方々は勿論、地域住民も活気づくことを目標に、これからも商品開発だけではなく、地域を大切に活動にも積極的に励もうと思っています。

地域商工業の資質向上をお手伝いします 各種支援制度を是非ご利用ください！

様々な経営課題を解決しようとする地区の商工会にお申込みいただいた事業所に対して、まず商工会経営指導員等が訪問し事前ヒアリングを行います。その後相談内容に沿った適切な専門家を決定・派遣するとともに、事業終了後に再訪問して事後ヒアリングを行い、事業の検証並びに今後の支援を行いますので是非ご利用ください。

① 経営技術・強化支援事業 (エキスパートバンク事業)

小規模事業者等が経営面の特に技術・技能で悩んでおられる問題の解消を図るために、専門的知識を有する専門家を事業者からの要請に応じて直接派遣し、具体的・実践的な事項について指導・助言を行う事業です。

② 専門分野業種別 講習会開催事業

商工会連合会が委嘱した嘱託専門指導員の弁護士・税理士・中小企業診断士が、①財務・税務・経営等の専門野 ②商取引・契約・関係法令の照会等の専門分野 ③経営管理等の専門分野の業種別・専門分野別個別相談を行う事業です。

③ 経営安定特別相談事業

倒産の恐れのある中小企業から事前に相談を受けて、経営的に見込みのある企業については関係機関との協力を得て再建の方途を講じ、また倒産防止が困難とみられる企業については円滑な整理を図ることにより、企業倒産に伴う、地域の社会混乱を未然に防止する

ことを主な目的とし、連合会が委嘱した商工調停士を中心に弁護士・税理士・中小企業診断士の各分野の専門家と特別相談室を構成し、万全の体制で個別相談を行う事業です。

相談内容の一例

- ・ 経営一般及び経営管理の指導を受けたい。
- ・ 新製品の開発について指導を受けたい。
- ・ 店舗内装を見直したい。
- ・ 後継者及び従業員の教育をしたい。
- ・ 就業規則・服務規程・退職金規程等の実務指導を受けたい。
- ・ コンピュータの実務指導を受けたい。他

**秘密厳守！
相談料無料！**

※ご相談内容によって一部有料となる場合がありますので事前にご相談ください。



あなたも家族もまるごと守る！
頼れる補償の

商工会の 福祉共済

全国商工会会員福祉共済

「けが」の補償
「病氣」の補償*
トータル「がん」補償
シンプル「がん」補償がスタートしました！

商工会会員
10万人以上の方に
ご利用いただいています

お申込みはご加入の商工会まで *「病氣」の補償は「けが」の補償に加入されている方のみがお申込みいただけます。

平成二十五年度 広域振興等活性化事業のお知らせ！

本年度は、店力・街力向上支援事業が新たに展開されることになりました。

また、昨年度展開されていた四事業が、今年も引き続き展開されます。地域経済活性化の一助となるよう期待されることです。

新規事業

店力・街力向上支援事業

既存商店街に限らず広域的に点在し存続している事業者等を対象に、経営革新手法による各店の経営力強化と併せて、これらの各店の相互補完関係の構築に努めます。

そのことにより、各店の利便性の向上や「らしさ」創造、地域コミュニケーションの再構築等を図るものであります。

足腰の強い個店づくりを目指すことにより、少子高齢化等の地域が抱える社会課題に対応可能な新たな手法による地域コミュニティの機能再生を初め、創業や第二創業等の新たな業種創出が期待されます。

・事業期間

一年（年度内）

・事業内容

①セミナー八回

（経営革新計画二回）

②個店経営指導

③消費者ニーズ調査の実施

④次年度へつなげる事業計画

検討

・事業対象

津軽地区：一商工会

下北・南部地区：一商工会

の商店街等

継続事業

一 広域振興等地域活性化事業

・下北地域広域連携

経営支援体制強化事業

経営指導員チームによる共同巡回と、各々の経営指導員の得意分野でのスキルを交互に発揮し、より良い経営支援内容の提案等を行うため経営支援計画検討会議を開催します。

また、共同巡回に於いてピックアップされた経営革新等のシーズ

のうち、広域的支援によって実現可能なものを事業化させる取り組みを行っていきます。

地域特産品の工夫・活用提案や販売促進も継続して行っていきます。

・北五北部広域連携推進事業

地域資源等の共同活用や、地域間交流を実施することにより、ヒト・モノを中心とした広域ネットワークを構築します。同時に連携による広域ブランド商品の開発を推進することにより、地域経済の活性化と企業支援の強化を図ることを目的に事業を実施します。

・次世代事業者育成事業

事業後継者の育成と承継の必要性の周知、創業に関するノウハウの習得を図るため事業継承塾、創業塾を開催します。

・事業後継者塾

次世代リーダー候補に必要なビジネスストーリーニングを行います。

四時間×五カ所
募集人員二十名

四時間×四カ所
募集人員二十名

三 経営指導事例研究発表大会

経営改善普及事業全般について、県内七地区の代表による指導事例発表会を開催し、情報共有を通じて、今後の経営改善普及事業への効果的活用を図ります。

四 特産品販路開拓

広域サポート事業

地域特産品を開発した県内商工会地域、中小企業者等を対象に支援希望商品を募集します。セミナー開催による販路開拓に関するノウハウの習得や営業の強化、並びに商品の更なるブラッシュアップを行い、県内外のスーパーやアンテナショップ等へ継続的に取引が出来るようマッチングを図り、消費者並びに流通業者へ販売機会を提供し販路開拓を目指します。

今年度は首都圏展開スーパー及び業務店のバイヤー、商談会、飲食店等業務店とのコラボによるメニュー化実証・実験事業、各種物産展等販売機会の斡旋を重点において事業を展開します。

・創業塾

生活・消費のプロともいえる女性の起業意欲を引き出すセミナーを開催します。

・創業塾

生活・消費のプロともいえる女性の起業意欲を引き出すセミナーを開催します。

・創業塾

生活・消費のプロともいえる女性の起業意欲を引き出すセミナーを開催します。

青森県商工会連合会

新採用職員の紹介



新たな歩み

平成二十五年四月一日付で青森県商工会連合会に新採用された職員十名の期待の新星が、それぞれの個性を活かして商工業の未来を担うため、その第一歩を歩み始めました。



- ① 岡田 悠貴 (おかだ ゆうき)
- ② 平成 2 年 9 月 18 日
- ③ 天間林村商工会
- ④ 野球
- ⑤ バスケットボール・バドミントン
- ⑥ 早寝早起き
- ⑦ 地域への理解を深め、地域住民と共に明るいまちづくりを実現できるよう、全力を尽くします。



- ① 大川 貢 (おおかわ みつぐ)
- ② 昭和 59 年 12 月 28 日
- ③ 今別町商工会
- ④ 旅行・野球観戦 (楽天)
- ⑤ 長時間の運転
- ⑥ 傾くなら傾き通せ
- ⑦ 他の方より年齢が離れているので、前職の経験を生かして 20 歳前後の若いパワーに負けないように努力していきます。

【項目説明】

- ① 氏名 (ふりがな)
- ② 生年月日
- ③ 配属先
- ④ 趣味
- ⑤ 特技
- ⑥ 私の信条
- ⑦ 商工会勤務に対する抱負
- ※ 紹介は順不同です



- ① 倉内 司 (くらうち つかさ)
- ② 昭和 59 年 9 月 6 日
- ③ 五戸町商工会
- ④ スポーツ観戦・カラオケ
- ⑤ 資格取得
- ⑥ 諦めなければ好機はつかめる
- ⑦ 業務に必要な知識習得に励み、地域社会に貢献できる人材になれるよう努力していきたいと思います。



- ① 北川 亜矢子 (きたかわ あやこ)
- ② 平成 6 年 11 月 8 日
- ③ 大間町商工会
- ④ 音楽鑑賞
- ⑤ 所持資格 (情報処理等)
- ⑥ 日進月歩
- ⑦ 仕事を一つずつしっかり覚えていき、何事にも向上心を持ちながら取り組んでいきたいと思います。



- ① 長内 亜耶 (おさない あや)
- ② 平成元年 10 月 12 日
- ③ 階上町商工会
- ④ ドライブ・読書
- ⑤ 書道
- ⑥ 案ずるより産むが易し
- ⑦ 日々学ぶ姿勢と笑顔を忘れず、何事も楽しみながら取り組んでいきたいと思っています。

青森県商工会連合会

新採用職員の紹介



- ① 横浜 祥太
(よこはま しょうた)
- ② 平成 7 年 2 月 4 日
- ③ 中泊町商工会
- ④ 読書・天体観測
- ⑤ 口笛・ドラム
- ⑥ サブカルチャーは日本を変える
- ⑦ 日々の業務を一つずつこなし、毎日を楽しく実りあるものにしていきたいです。



- ① 今 美郷 (こん みさと)
- ② 平成 7 年 1 月 4 日
- ③ つがる市商工会
- ④ カラオケ・料理・人間観察
- ⑤ 一輪車
- ⑥ 聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥
- ⑦ 早く仕事を覚えて一人前の社会人として認められるよう、常に笑顔で頑張ります。



- ① 真土 佑樹 (まつち ゆうき)
- ② 平成元年 10 月 5 日
- ③ 岩木山商工会
- ④ ラーメン屋巡り・カラオケ
- ⑤ 体力には自信があります
- ⑥ 和を以て貴しとする
- ⑦ 今まで未経験な事の連続ですが、業務に関する知識を深め、地域に馴染むべく努力していきます。

【編集後記】
夏も近づき、役所でも企業でもほとんどの人がノーネクタイの軽装姿となりました。環境対策から始まった夏期の「クール・ビズ」も日本の文化としてすっかり定着したようですね。
我々編集委員はこれからも県内商工会地域が発信する話題や情報を提供してまいりますので、皆様方にはご協力のほど
宜しくお願い申し上げます。(F)



- ① 今 佑馬 (こん ゆうま)
- ② 昭和 62 年 10 月 22 日
- ③ 青森県商工会連合会
- ④ 野球観戦(楽天)・スノーボード・読書(三国志作品)
- ⑤ バレーボール
- ⑥ 一期一会
- ⑦ 学生時代に学び・経験した事を活かして業務に取り組み、地域及び自身の成長に繋げていきたいです。



- ① 工藤 海 (くどう かい)
- ② 平成元年 2 月 15 日
- ③ 青森県商工会連合会
- ④ 料理・お酒
- ⑤ ラグビー
- ⑥ おもしろきこともなき世をおもしろく
- ⑦ 前職の経験を生かして、県内企業への支援を通じ、地域経済の発展に寄与できるよう努力してまいります。